

歌壇

大下一真選

特選

敬老の日に賜わりし町会の赤飯まずは仏壇に供う

千石 小出 風沙子

膏藥のごとくメモある冷蔵庫わが物忘れの助け船なり

本駒込 唐木 よし子

木簡にしたためられし万葉歌墨薄れしも色濃き想い

千石 菊地 正矩

入選

手をひかれようよう降りたる古里ふるさとの駅に卒寿の母は合掌す

千駄木 伊藤 惠津子

大塚の帝国女專碑ていこくじよせんひ哀れなり防空壕に逝ゆきし乙女ら

小日向 宮澤 正幸

眼帯の外れて見ゆる街並みに光はあふれ人等ひとらやさしき

水道 菅井 茂子

若き日の恥かきし事想う時一声「ニヤー」と叫ぶ癖あり

向丘 高野 伸子

寒き朝猫もぐり来て我起こし彼はぬくぬく朝寝続ける

小日向 内野 仙也

二筋の滝と向き合う席をとりマイナスイオンと蕎麦を楽しむ

千駄木 上杉 紀世子

へ二十四の瞳にじゅうしひとみに瞼はらしきて今日は素直な心が戻る

本郷 堺 公美

俳壇

松澤 雅世 選

特選

箱庭も一人前の秋の色

千駄木 江川 盾雄

吉報に木犀もくせいの香の仄かなり

千駄木 山田 鈴女

夕顔や咲くもしぼむも白のうち

千石 菊地 正矩

入選

かなかなの競い鳴き出す山峡やまの暮

小日向 内野 仙也

紅き桃神のつくりし形して

西片 中島 多津子

信号のまた赤となる秋暑し

小石川 中野 千鶴子

西窓にまだ力あり今日の月

向丘 丸岡 正児

参詣さんげいの途絶えて白き秋の風

向丘 片岡 マサ

人生の台風かこれ耐えんとす

本郷 堺 公美

経を読む間の暖を先に取り

向丘 高野 伸子